

講義レジュメ

講 師 井上卓朗

内容・テーマ

すみだ企業博物館連携協議会～結成とその活動期 日 2019年10月4日

すみだ企業博物館連携協議会は、墨田区内に所在している花王ミュージアム、セイコーミュージアム、たばこと塩の博物館、東武博物館、郵政博物館の5博物館によって、平成28年に発足した。本協議会は、5館が連携して人材の育成、資質の向上、親睦を図り、企業博物館の活動に対する理解の向上を目指すとともに、地元地域の文化振興と活性化に貢献することを目的としている。この目的達成のために、定期的に代表者会議、学芸員によるワーキングチーム会議を開き、幅広い情報交換を行っている。活動開始とともに「ゆたかとせ すみだ五つの博物館めぐり」というタイトルで共通ポスターやチラシ、パンフレットなどを作り、東武鉄道の駅や郵便局など各企業の特性を生かした広報活動を行った。共通パンフでは5館を紹介するだけでなく5館めぐりのおすすめコースを設定するとともに、すみだの地を「近代工業発祥の地」として紹介した。

平成30年度には、たばこと塩の博物館において「モボ・モガが見たトーキョー」を開催した。この企画展では、5館を中心とする企業博物館・企業アーカイブズに残る「モノ」から大正時代から昭和初期の日本の産業やライフスタイルなどこの時代の人々の生活・文化の変化を紹介し、5館の学芸員がそれぞれ展示の見どころの解説を行った。夏休みには、明治150年をテーマに、各館がそれぞれの常設展示場に存在する明治期資料にスポットを当てて紹介する「明治を探そう」合同イベントを実施した。

墨田区では、すみだ北斎美術館、刀剣博物館が新たに開館したほか、小さな博物館運動も行われており、数年後には、博物館・美術館の宝庫となっていく様相を呈している。その中で、本協議会は、「5館の入館料や休館日など運営形態が異なる」という課題を抱えながらも、「生活・文化の歴史と今」を発信する墨田区内の五つの企業博物館ネットワークとして各館の特徴を十二分に発揮した活動によって地域貢献を進めていく。

〔参考文献〕

『すみだ五つの博物館めぐりガイド』すみだ企業博物館連携協議会 2018.06

「特集 第66回全国博物館大会報告」『博物館研究』（公財）日本博物館協会 2018.3